

お取引先との関わり

お取引先と公平・公正な関係を保ちつつ、よきパートナーとしてともに社会の期待に応え、持続可能な社会の実現に貢献します

調達の方針について

当社では、製品の調達を品質のほか、グリーン調達など環境に配慮した共通の基準を設けて行っています。道路舗装に使用するアスファルト合材は、材料となる砕石の採取地を確認し、周囲の環境に与える影響や現場従業員の労働環境を考慮した上で、安定供給が可能な調達先を選定しています。

新規事業者の選定にあたっては遵守すべき項目を定めることで、公平かつ公正な取引の徹底を図り、お取引先には反社会的勢力の排除条項を設けた契約の締結にご協力いただいています。

協力会社に対する舗装技術講習の実施

当社工務部・機械部が主導となり、協力会社への技術講習を実施しています。2017年度に続き、2018年度も当社従業員および協力会社の重機オペレータを対象に、ICT施工を含む施工機械の運転実技講習のほか、作業現場における安全・品質・生産性の向上に関する座学を実施しました。2019年度からは全国8支店に新設した機械課が協力会社の技術向上を担い、工事部長会議や現場担当者研修会で共有された現場でのさまざまな事例を展開して、品質の向上を目指します。また、当社技術職員へのICT教育にも注力していきます。



技術講習の様子

安全大会の実施

当社および協力会社従業員の安全と健康を確保し、快適な作業環境の形成を促進することを目的に、毎年6月に全店で安全大会を開催しています。

労働安全衛生マネジメントシステムに基づいて作成した「地方安全衛生対策要綱」の周知をはじめ、危険に対する感受性を高めて不安全行動・不安全状態を撲滅し、事故災害ゼロを目指すことを参加者全員が確認し共有することで安全意識の向上を図っています。



関東支店安全大会

協力会社に対する社長表彰

当社の事業は協力会社なくして成り立ちません。毎年、各支店が協力会社の表彰を行うとともに、2018年度から「社長表彰制度」を設け、会社業績に多大な貢献があった協力会社を表彰しています。

2019年度は有限会社櫻建工(埼玉県)、株式会社白木建設(大阪府)、株式会社ナスキー(宮城県)、有限会社鈴伸土木(静岡県)、有限会社沢産業(熊本県)の5社の代表者さまに当社社長が謝辞を述べ、感謝状と記念品を贈呈しました。

当社はこれからも協力会社の皆さまとともに社会基盤の整備に寄与していきます。



表彰式の様子



TOPIC

道路工事現場での安全確保

道路工事の現場では、車両が行き交う中、車線規制を行い作業することになるため、特に夜間は危険性が高まります。こうしたリスクを低減するため路面点滅誘導灯「ミチテラ™」を開発しました。

LEDを搭載した「ミチテラ™」を道路上に並べ、点滅速度を調整し光の流れをつくることで、ドライバーの速度感覚をコントロールし車両を安全に誘導します。

また、車両規制を行う場所では、ドライバーが無意識に必要以上のスピード制御を行い渋滞が発生することがありますが、「ミチテラ™」は適切な速度で点滅させ光の流れをつくっており、渋滞緩和にも効果を発揮します。

作業員の安全性とともに道路利用者の利便性も向上できる製品として評価いただいています。



複雑な電機工事は不要で、大型ダンプトラックが乗りあげても粉砕しない堅牢性を備える

TOPIC

東京大学と共同研究 4Dモデルを活用した安全管理手法を研究

現在国土交通省では、建設現場の生産性向上対策として「i-Construction」を推進しています。

2018年10月より東京大学大学院工学系研究科に「i-Constructionシステム学寄附講座」が設置されました。当社は共同研究パートナー第1号として「4Dモデルを活用した建設工事の安全管理手法」の研究に取り組んでいます。

現場の労働災害は繰り返し発生する傾向があり、工事着手前に当該現場に適した対策を講じることは事故の削減に有効な手段です。本研究では、現場の3次元モデル上で作業手順に基づいた施工シミュレーションを行い、データベースより当該作業に合致した法令および過去の事故事例を抽出し画面上に表示することで、作業着手前に視覚的に確認しリスク対策を検討できるシステムの構築を目標としています。

本研究成果はオープンソースとして公開される予定となっており、建設業界全体の労働災害発生防止へ貢献する取り組みです。

出典元：東京大学大学院工学系研究科 i-Constructionシステム学寄附講座 <http://www.i-con.t.u-tokyo.ac.jp/>

▶ 研究内容・研究課題



お客様との関わり

従業員との関わり

お取引先との関わり

環境との関わり

地域社会との関わり